



森林公園に行こう



無料版・秋

なぎ

ナギナタコウジュ



ナギナタコウジュ【長刀香需】 (ふれあい広場・10月) 花の形がなぎなたに似ており、コウジュという薬になるので「長刀香需」。芳香があると言われていますが、かすかな香りなので私にはよく分かりませんでした。野草コースでも見られます。 *Elsholtzia ciliata* {シソ科ナギナタコウジュ属／1年草}



ナギナタコウジュの花



ナギナタコウジュの花裏



ナギナタコウジュの葉表





ナギナタコウジュの葉裏



ナギナタコウジュの葉腋

フユノハナワラビ



フユノハナワラビ【冬の花蕨】 (南サイクリングセンター・10月) シダ植物の花に相当する器官は葉の裏にあることが多いのですがこれは太い茎の上に掲げるので目立ちます。名前の由来は冬(ほんとうは晩秋)に花のような孢子囊をつけるから。 *Botrychium ternatum* {ハナヤスリ科ハナワラビ属/シダ植物}



フユノハナワラビの孢子囊』 種子植物の花にあたる部分をシダ植物では「ソーラス」(あるいは

孢子嚢)といいます。シダ植物は種ではなく、胞子を作ります。



フユノハナワラビの葉表



フユノハナワラビの葉裏

ヤブタバコ



ヤブタバコ【藪煙草】 (南サイクリングセンター付近大園路・10月) 花期に根生葉はない。1本の茎が少し垂直に伸びてその先で5つぐらい水平方向、放射状に広がる形。ガンクビソウはたくさん分岐する。花期に根生葉が残るのがサジガンクビソウ。 花期は9～10月 *Carpesium abrotanoides* {キク科ヤブタバコ属／越年草}



ヤブタバコの花』 先がすぼまった小さく(5～10mm)黄色の花をつける。コヤブタバコは平たい花でヤブタバコより大きめで(15～18mm)花色は緑色。





ヤブタバコの葉表



ヤブタバコの葉裏

アオツツラフジ



アオツツラフジ【青葛藤】 (11月) 葉や茎が有毛で葉柄は短い。ツツラフジは無毛で葉柄が長い。 別名:カミエビ 花期:7~8月 *Cocculus trilobus* {ツツラフジ科アオツツラフジ属/落葉つる植物}



アオツツラフジの葉表





アオツツラフジの葉裏



アオツツラフジの葉腋

カマツカ



カマツカ【鎌柄】(記念塔付近・11月) 名前の由来は、材が固く、粘り強く鎌の柄に使われるから。ちなみにカマツカという同名の魚もいる。 別名:ウシコロシ 花期:4~5月 *Pourthiaea villosa var. leavis* {バラ科カマツカ属 / 落葉小高木}



カマツカの葉表



カマツカの葉裏



カマツカの幹

ウラゲウコギ



ウラゲウコギの葉表【裏毛五加】(展望レストラン付近・11月)』 葉の形は掌状複葉(手の平の形)、幹にはトゲありと特徴のある木です。ヤマウコギに似ていますが葉の形で区別できます。ウラゲウコギは小葉の形が菱形に近く、先が尖っています。ヤマウコギは丸に近く、先はあまり尖っていません。 雌雄別株 花期:5～6月 *Acanthopanax nikaianus* {ウコギ科ウコギ属／落葉低木}



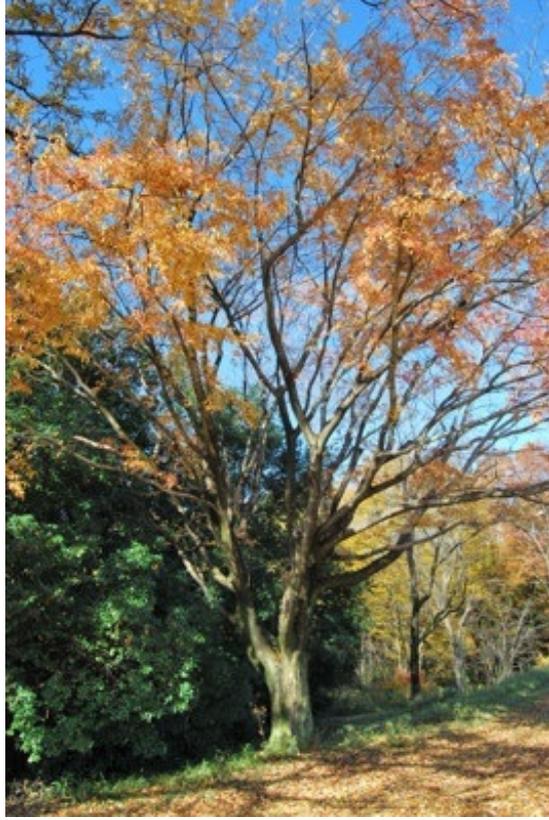
ウラゲウコギの幹』 よく見るとトゲがあります。



ウラゲウコギの葉腋



ウラゲウコギの冬芽



イヌザクラ【犬桜】 (展望広場・11月)

サクラ属の紅葉は、いきなり茶色になってしまう時と、黄色、橙色になることがあるようです。この個体はきれいな色が出ていました。紅葉の時期はカエデより少し早めです。 *Prunus buergeriana* {バラ科サクラ属 / 落葉高木}



イヌザクラの紅葉



イヌザクラの落ち葉



イヌザクラの幹



クヌギ【櫟】 (展望広場・11月)

クヌギとコナラは里山で最も多く見られる木です。森林公園にもたくさんあります。この個体はきれいな黄色になっていました。 *Quercus acutissima* {ブナ科コナラ属 / 落葉高木}



『クヌギの落ち葉』 クヌギとコナラの違いは葉の形を見れば分かります。高木では枝まで手がとどかないので落ち葉を拾ってみましょう。クヌギは長細く、大きめ。ただこの点に変異があるので必ずしも明確ではありません。葉脈の先が鋸歯から飛び出て針状になっているところが確実な見分けだと思います。



クヌギのドングリ』 ドングリが落ちていればなお分かりやすいです。クヌギのドングリは大きく丸っこい。コナラは長細い。



クヌギの幹



イヌシデ【犬四手】 (展望広場・11月)

展望広場は紅葉のための条件が良いらしく、きれいに発色しています。実の形を紙垂（四手、しで）に見立ててイヌシデです。紙垂は神道で祓具として使う、複雑に切った紙のことで（あるいはしめ縄に垂らす紙）。イヌは植物の名前で役に立たないという意味でつけられます。

Carpinus tschonoskii {カバノキ科クマシデ属／落葉高木}



『イヌシデの落ち葉』 葉は黄色～橙色に染まります。



『イヌシデの幹』 幹にできる模様はイヌシデの特徴なのですがこの個体は地衣類らしきものが多く付着してしまいモルタルの表面みたいです。



のらぼう菜のペペロンチーノ(展望レストラン・2015年)



ヤブツルアズキ(ふれあい広場・9月)



ツンベルギア、やはずかずら【矢筈葛】(運動広場・9月) 名板にはツンベルギア、琉球アサガオ、西洋アサガオと書いてありましたが、撮影時に咲いていたのはツンベルギアだと思います。熱帯アフリカ、熱帯アジア原産 *Thunbergia* {キツネノマゴ科ヤハズカズラ属／多年生つる植物}



コキア(運動広場・9月)



ヒガンバナ(運動広場・9月)



イイギリ(後谷沼・9月)

ウバユリ



ウバユリ【姥百合】(日本庭園付近・9月) *Cardiocrinum cordatum* {ユリ科ウバユリ属／多年草}



ウバユリの実



ウバユリの実



ウバユリの葉



ウバユリの花(日本庭園付近・7月)



ウバユリの花



ウバユリのつぼみ(7月)



ウバユリの芽生え(日本庭園付近・4月)



ヤマノイモ【山の芋、自然薯】(運動広場・9月) この植物のイモは山芋、長芋、大和芋と同様な調理法で食べることができます。ヤマイモとヤマノイモは別の植物なのですがまぎらわしいのでヤマノイモを野菜として流通するときは「じねんじょ」という名詞を使います。 日本原産

Dioscorea japonica {ヤマノイモ科ヤマノイモ属/つる性多年草}



ヤマノイモの実』 1つの実は3枚の羽で構成されていて、この中に薄い種子が入っています。熟すと開いて風に乗って散布されます。



ヤマノイモのむかご【零余子】(9月) 地上部に直径5mmぐらいのイモに似た器官ができます。この丸いものは「むかご」と呼ばれこれは「むかごご飯」などにして食べることができます。むかごは植物が無性生殖を行う器官です。栽培する際には種子ではなくむかごを使うそうです。



ヤマノイモのむかご(10月) 見分け方は、葉のつき方が対生であること、つるが上から見て左巻きであること、むかごが付くことで分ります。



ヤマノイモの黄葉(椿園・11月) 秋になるときれいな黄色になります。



ヤマノイモの雌花(8月) ヤマノイモは雌雄異株です。めばなは下にぶら下がる。メスの株は見つけにくいです。



ヤマノイモの雄花(8月) おばなは上に向かって伸びる。



ヤマノイモのつぼみ(8月)



コシロネ【小白根】(野外炊飯広場の人工池・9月) 湿地を好む植物。名前の由来は地下茎が白いことによる。近縁種にシロネ、ヒメシロネがあります。シロネは80～120cmと背丈が高い、ヒメシロネとコシロネは60cm以下と低い。ヒメシロネは葉の基部が丸くて葉柄がないことが多い、コシロネはクサビ形です。 {シソ科シロネ属／多年草}



コシロネの花



コシロネの葉表



コシロネの葉裏



ノブドウ【野葡萄】(なめがわ森林モール付近・9月) 若い実は緑色、熟すと青色、紫色、水色、ピンク、白色とカラフルになります。実には虫えいがあり、食べることはできません。
。 *Ampelopsis glandulosa var. heterophylla* {ブドウ科ノブドウ属/つる性落葉低木}



ノブドウの花』 花は、小さいので咲いているのかつぼみなのかわかりづらいです。ヤブガラシと同じように早期に花びらとおしべが脱落するタイプのようです。ルーペで見るといくつかの花は、花びらが残っています。



ノブドウの葉表』 葉の形は変異が大きい。



ノブドウの葉裏』 毛はあるが、少ないので緑色に見えます。ヤマブドウやエビヅルでは「くも毛」があるのが相違点です。



ノブドウの実(越辺川散策路・11月)



アカザ【藜】(後谷沼・9月) 若葉は白色、あるいは赤色を帯びるが大きくなると色があまり出ないので区別しづらくなる。粉白色になるのがシロザ、赤くなるのがアカザ(シロザの変種扱い)。
。 *Chenopodium album* var. *centrorubrum* {ヒユ科アカザ属／1年草}



アカザの花序』 風媒花で花粉症の原因になりうる。



アカザ(花木見本園裏の苗園・8月) 若葉はおひたしにして食べることができる。ハウレンソウみたいな味。



アカザの葉裏



アカザの茎』 若い葉だけでなく、茎も赤みを帯びるようです。

シラヤマギク



シラヤマギク【白山菊】(ふれあい広場付近・9月) 野菊のうちの1つで別名:ムコナ(婿菜)です。野菊の仲間は似たものが多いのですが、このシラヤマギクは花びら(舌状花)の枚数が少なく、葉の形も異なるので見分けは容易です。若い葉は食用にすることができるそうです。 *Aster scaber*
{キク科シオン属/多年草}



シラヤマギクの花裏



シラヤマギク、上の方の葉』 植物は付属する場所により葉の形を変えることがあります。シラヤマギクもその1つです。上の方の葉と下の方の葉と形を比較してみてください。



シラヤマギクの葉裏



シラヤマギク、下の方の葉

ヤマジノホトトギス



ヤマジノホトトギス【山路杜鵑草】(ふれあい広場付近・9月) 名前の由来は、花びらにある斑点が鳥のホトトギスににているから。ヤマジノが付くのは山路でよく見られるからというわけではなく単にホトトギスと区別するためです。 *Tricyrtis affinis Makino* {ユリ科ホトトギス属/多年草}



ヤマジノホトトギス』 花を横から見ると特徴が良く分かります。花の中央にあるおしべとめしべが合着した部分に模様はありません。花びらは平開します。ホトトギスは合着した部分に模様があり、花びらの開く角度は小さいです





ヤマジノホトギスのつぼみ



ヤマジノホトギスの葉裏(ドッグラン付近・9月)



『ヤマジノホトギスの茎』 茎に生えている毛の向きで見分けができます。ヤマジノホトトギスは下向き、ホトトギスは上向きです。慣れれば手で触って分るのですが初めはルーペで見た方が確実だと思います。

サンゴジュ



サンゴジュの実【珊瑚樹】(南口駐車場・9月) 名前の由来は、秋に熟す赤い実がサンゴの加工品
ににているから。 *Viburnum odoratissimum* {レンプクソウ(スイカズラ)科ガマズミ属／常緑
高木}



サンゴジュ(中央レストラン裏・6月)



サンゴジュの花(6月)



サンゴジュの花



サンゴジュのつぼみ(6月)



サンゴジュの葉表



サンゴジュの葉裏



サンゴジュの幹



サンゴジュの芽出し(3月)



カツラ(展望広場下・10月)



カツラのシュート



カツラの葉表



カツラの葉表



カツラの葉裏



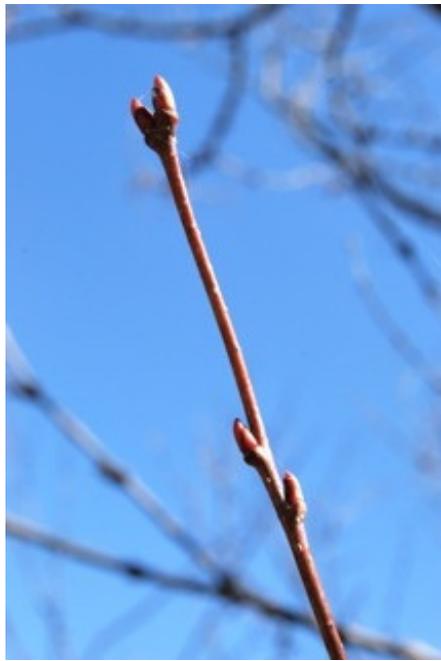
カツラの幹



カツラの実(西口・8月)



冬のカツラ(西口・3月)



カツラの冬芽(3月)



カツラの芽出し(3月)

コウヤボウキ



コウヤボウキ(中央橋付近大園路・10月)



コウヤボウキの花



コウヤボウキの花



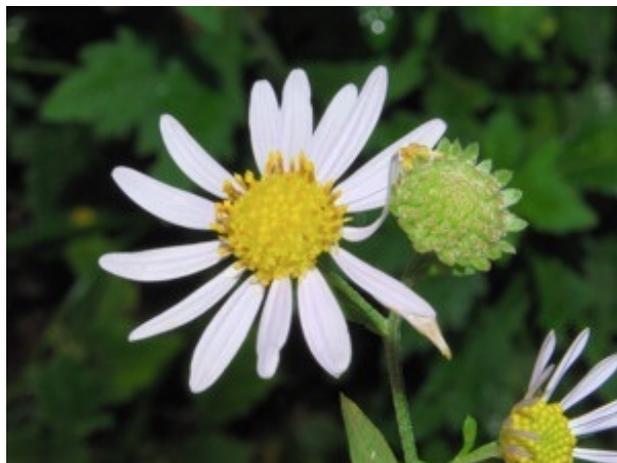
コウヤボウキの葉表



コウヤボウキの葉裏



コヨメナ(栗谷沼・10月)



コヨメナの花と冠毛



コヨメナの花裏



コヨメナの葉表



コヨメナの葉裏



南口噴水(10月)



シュウカイドウ(南口噴水・10月)



キチジョウソウ(野草コース・10月)



ボタンヅル(中央橋付近大園路・10月)



梅おろしうどん(展望レストラン・2015年)



サラシナショウマ(野草コース・9月)



サラシナショウマの花序(9月)



サラシナショウマの葉表



サラシナショウマの葉裏



サラシナショウマ(野草コース・10月)



サラシナショウマの実(10月)



サラシナショウマの葉(10月)



オトコエシ(9月)



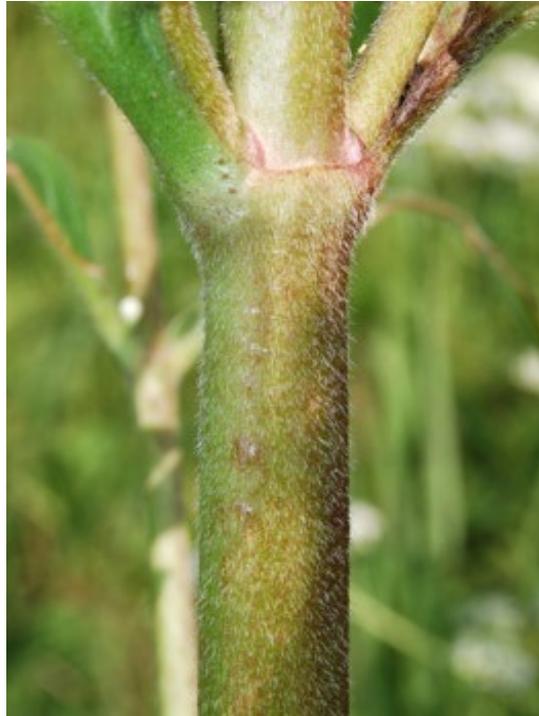
オトコエシの花(9月)



オトコエシの葉表



オトコエシの葉裏



オトコエシの茎



オトコエシ(西田沼付近大園路・10月)



オトコエシの実(10月)



オトコエシの葉表



オトコエシの葉表



カシワバハグマ(野草コース・10月)



カシワバハグマの花アップ(10月)



カシワバハグマの花横(10月)



カシワバハグマの葉裏



カシワバハグマの瘦果(野草コース・12月)



カシワバハグマの種子



コアカソ(野草コース駐輪場・10月)



コアカソの花序(10月)



コアカソの葉裏



オケラ【朮】 (中央橋付近大園路・10月) 若芽は山菜となります。根茎は白朮（ビャクジュツ）という健胃薬として用いられます。 花期:9~10月 古名:ウケラ *Atractylodes japonica* {キク科オケラ属／多年草}



オケラの花』 総苞片?が網状になる所がおもしろい。葉の鋸歯は針のようにとがる。





オケラの花



オケラの葉表



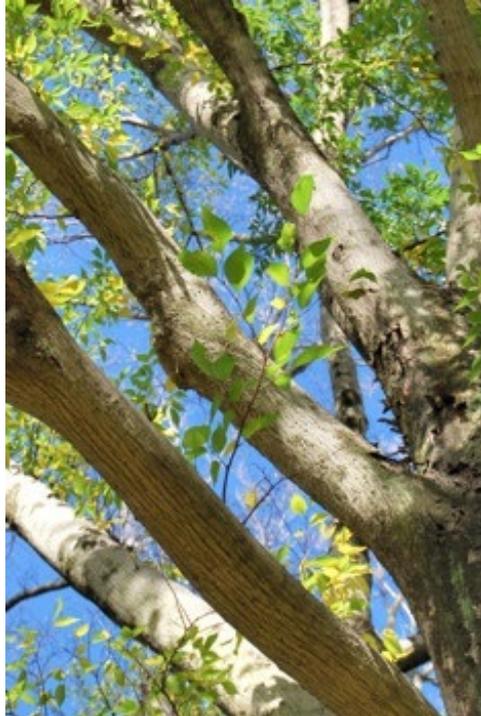
オケラの葉裏



オケラの葉裏』 裏にはトゲがある



オケラの花後(11月)



ムクノキ【椋木】(公園庭園樹見本園・11月)』 10月に黒紫に熟す実は食べられます。鳥たちもよく食べます。葉を乾燥させたものには、炭酸石灰が含まれ、べっ甲や漆器などを研ぐのに用いられていました(紙やすりの代わり)。 *Aphananthe aspera* {ニレ科ムクノキ属 (落葉高木)}



ムクノキ



ムクノキの幹



ヤツデ【八手】(公園庭園樹見本園・11月)』ほんとうに8つに裂けた葉を見つけました。よくみると左端が癒着しているようです。名前は八手だが、葉は7つ、9つに裂けることが多い(原則として奇数)。命名した人がちゃんと数えないでほしい平均8つぐらいとしたのか、あるいは語呂がいいから八手にしたのかは不明です。 果実期:4月 *Fatsia japonica* {ウコギ科ヤツデ属 / 常緑低木}



ヤツデの花 花には雄性期と雌性期があるので観察してみよう。



ヤツデの蕾



ヤツデの葉表』

葉を乾燥させたものは「八角金盤」という生薬になります。



ヤツデの葉裏



ヤツデの幹

カンツバキ



カンツバキ【寒椿】 ツバキとサザンカの交雑種で花色は赤、白、ピンクがあります。同じピンクの八重咲きにオトメツバキがありますが、こちらは3～5月に咲き、ユキツバキ系です。 日本固有種 *Camellia hiemalis* Nakai {ツバキ科ツバキ属／常緑低木}

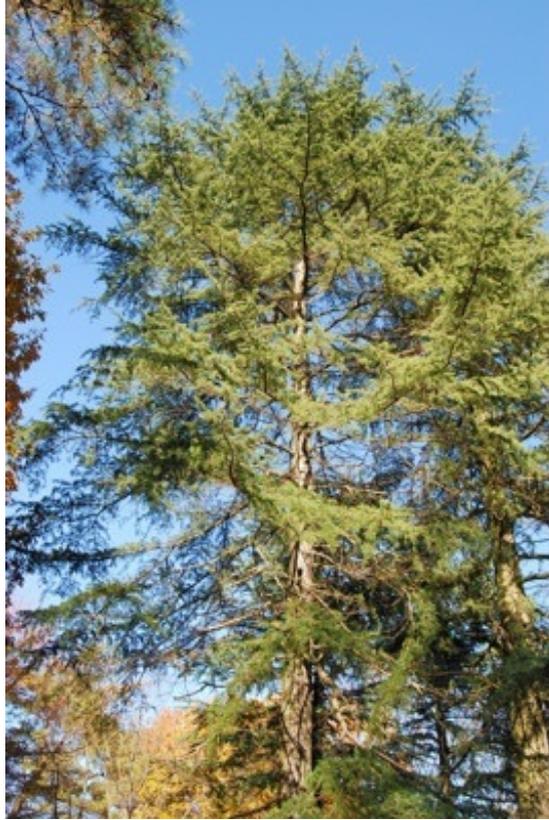


カンツバキの葉表



カンツバキの葉裏

ヒマラヤスギ



ヒマラヤスギ【ヒマラヤ杉】 (彫刻広場・11月) 雌雄同株、雌雄異花 花は10～11月 別名:ヒ
マラヤシーダー *Cedrus deodara* {マツ科ヒマラヤスギ属 / 常緑高木}



『ヒマラヤスギの雄花』 彫刻広場付近を歩くと毛虫みたいなのがたくさん落ちています。



ヒマラヤスギの雄花』 上を探すとこれはヒマラヤスギの雄花であることがわかります。



ヒマラヤスギの幹



カラマツ【唐松】 (紅黄葉樹見本園・11月)

Larix leptolepis {マツ科カラマツ属 / 落葉高木}



カラマツの落ち葉



カラムツの松ぼっくり



カラムツの幹

ウラジロモミ



ウラジロモミ【裏白樅】 (針葉樹見本園・11月)

花期:6月 雌雄同株 *Abies homolepis* {マツ科モミ属／常緑高木}



ウラジロモミの紅葉



ウラジロモミの幹



ニオイヒバの球果【匂い檜葉】 (針葉樹見本園・11月)

Thuja occidentalis {ヒノキ科ネズコ属(クロベ属)/常緑小高木}



ニオイヒバの葉表



ニオイヒバの葉裏



ニオイヒバの幹



ウド【独活】(彫刻広場・9月) 山菜としておなじみのウド、植物本体はこんなのです。茎は太く丈夫ですが木ではなく草です。白ウド、山ウドという言葉があります。これらは植物の種類が違うわけではなく、栽培方法が異なるだけです。白ウドは光の当たらない場所で土を盛って栽培したもの。 *Aralia cordata* {ウコギ科タラノキ属／多年草}



ウドの花



ウドの実



ウドの葉表



ウドの葉裏



ウド



ウドに訪花するメスグロヒヨウモン(彫刻広場・9月)

アマチャヅル(9月)



アマチャヅル【甘茶蔓】(小沼付近・9月) 花期は8から9月、雌雄異株 *Gynostemma pentaphyllum*{ウリ科アマチャヅル属}



アマチャヅルの葉表』 ヤブガラシと似ているが、葉の表面にブツブツがあり紫を帯びない。



アマチャヅルの葉裏



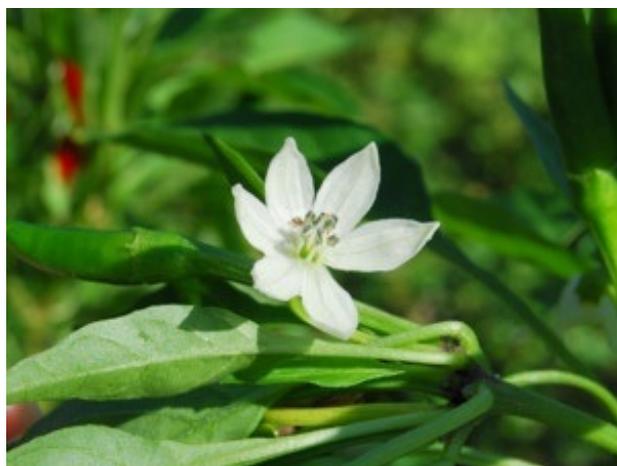
アマチャヅルの葉腋、巻きひげ



ハーブガーデン(9月)



トウガラシ(ハーブガーデン・9月)



トウガラシの花(ハーブガーデン・9月)



シロバナハギ(植物園展示棟付近・9月)



山田大沼(9月)



中央口噴水(9月)



ブルーサルビア(西口広場・9月)



西口広場(9月)



ナナミノキ(カエデ見本園・9月)



ナナミノキのシュート



ナナミノキの葉表



ナナミノキの葉裏



ナナミノキの幹



フランクリンノキ(紅黄葉樹見本園・10月)



フランクリンノキの葉表



フランクリンノキの葉裏

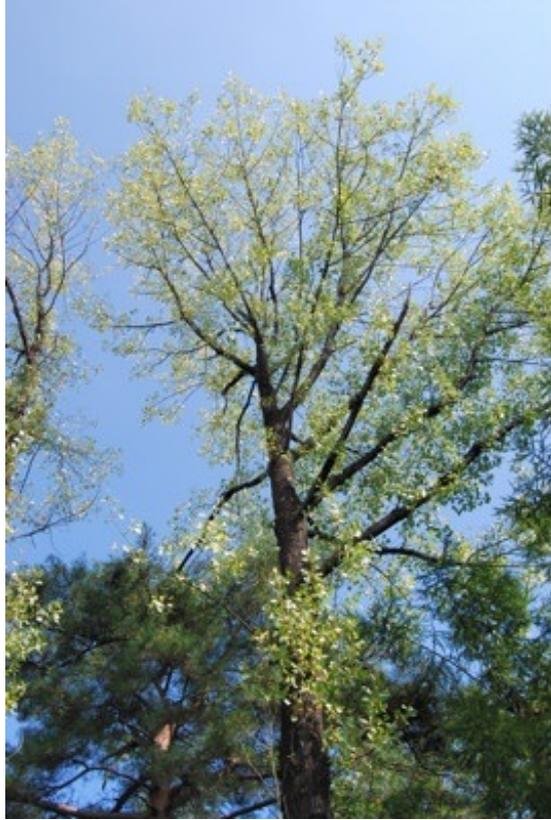


フランクリンノキの実

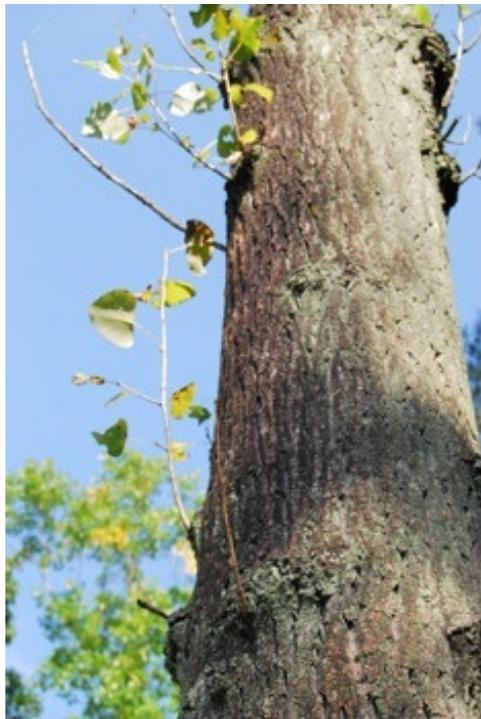


フランクリンノキの幹

カロライナハコヤナギ(10月)



カロライナハコヤナギ(紅黄葉樹見本園・10月)



カロライナハコヤナギの藁



カロライナハコヤナギの落ち葉



紅黄葉樹見本園(10月)



ハナズオウの実



ユリノキの萌芽



ユリノキのシュート



植物園展示棟前から彫刻広場を望む



フウ(植物園植物園展示棟前・10月)



フウの葉



フウの落ち葉



フウの実



フウの樹皮

オンブバッタ



オンブバッタ(公園庭園樹見本園・10月)



オンブバッタ

ヤマボウシ



ヤマボウシ(公園庭園樹見本園・10月)



ヤマボウシの花(花木園・6月)



ヤマボウシの葉表



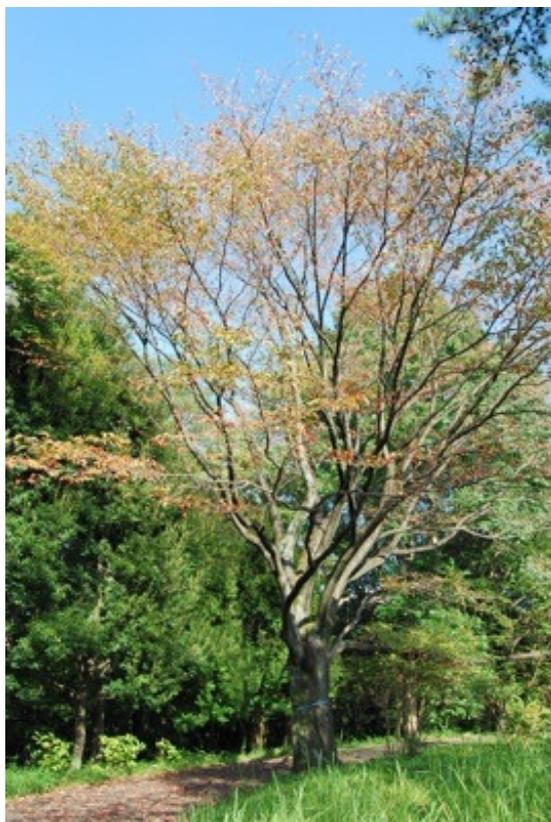
ヤマボウシの葉裏



ヤマボウシの幹



冬のヤマボウシ(北休憩所・3月)



ヤマザクラ(公園庭園樹見本園・10月)



『ヤマザクラの紅葉』 樹木の種類や場所により紅葉の時期は大きく異なります。サクラ属は10月上旬とかなり早いですが、カエデは11月下旬から12月上旬と遅いです。



アメリカセンダングサ(水生植物の池・10月)



アメリカセンダングサの実



アメリカセンダングサの種子



アメリカセンダングサ



アシオスギ(針葉樹見本園・10月)



アシオスギのシュート



アシオスギ



アシオスギの幹

ヒメクグ



ヒメクグ【姫莎草】(北あずまや・10月) 丈が低く、花も緑色なので気をつけてみていないと通り過ぎてしまいます。 *Cyperus brevifolius* var. *leiolepis* {カヤツリグサ科カヤツリグサ属／1年草}

スイートバジル



バジリコ 'スイートバジル'(ハーブガーデン・10月) イタリア料理(スパゲティとか)に良く使われるハーブです。「スイートバジル」というのは品種名で、種の名前としてはメボウキ、バジリコ、バジルが正しいです。 *Ocimum basilicum* {シソ科メボウキ属／多年草(日本では1年草扱い)}



スイートバジルの花





スイートバジルの葉表



スイートバジルの葉裏

アシズリノジギク



アシズリノジギク【足摺野路菊】(ボーダー花壇・11月) 名前の由来は、ノジギクの変種で、四国の足摺岬に生育していたから。 *Chrysanthemum japonense* var. *ashizuriense* {キク科キク属／多年草}



アシズリノジギクの花裏



アシズリノジギクの葉表



アシズリノジギクの葉裏



ジニア(ハーブガーデン・9月)



シュクシャ(ボーダー花壇・9月)



ルリフタモジ(ボーダー花壇・9月)



ルリフタモジ



ヤブツバキの実(花木見本園・9月) ツバキの実は熟すと割れてきます。



ヤブツバキの実(花木見本園・9月) これは大きく開いて種子が見えた状態。ツバキの実からは椿油がとれます。椿油は整髪料、食用油、塗料の原料として用いられます。



立寒椿の実(花木見本園・9月) ヤブツバキの実はツルツルですが、立寒椿の実は毛が多く、赤みを帯びます。

ハマトラノオ(10月)



ハマトラノオ(ボーダー花壇・10月)



ハマトラノオ



ハマトラノオに訪花するハチ



ヒマラヤマボウシの実(花木見本園・10月)



カシワバハグマの種子



カシワバハグマの花柄



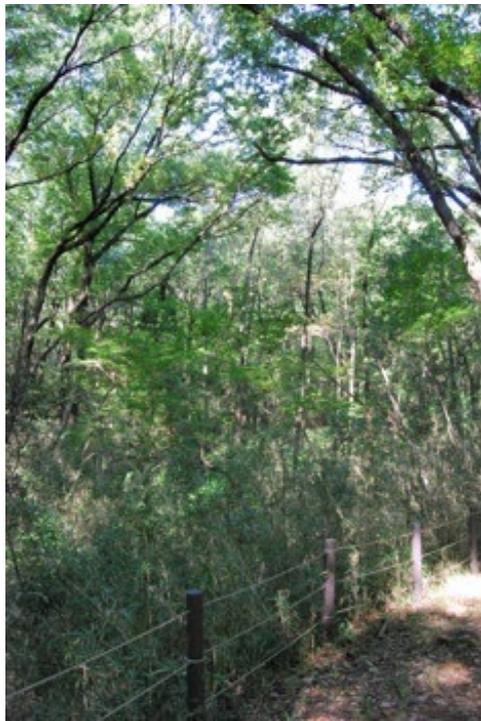
ホウチャクソウ(湿地性植物見本園見本園・10月)



ホウチャクソウの実



追山沼(10月)



北自然探勝路(10月)



北展望所手前分岐点(10月)



北展望所(10月)



クリノキの切り株(北展望所・10月)



サルビア・マドレンシス(ボーダー花壇・10月)



ナワシロイチゴ(ボーダー花壇・10月)

ヒマラヤマボウシ



ヒマラヤマボウシ(花木見本園見本園・10月)



ヒマラヤマボウシのシュート(10月)



ヒマラヤマボウシの実(10月)



ヒマラヤマボウシの葉表



ヒマラヤマボウシの葉裏



ヒマラヤマボウシの幹



サルビア・レウカンサ(北あずまや・10月)



サルビア・レウカンサの葉表



サルビア・レウカンサの葉裏



サルビア・レウカンサの葉腋、托葉



サルビア・レウカンサの茎



サルビア・レウカンサ



ツタ(柳谷沼付近・10月)



ツタ



ツタ

ミツデカエデ



ミツデカエデ【三手楓】(カエデ見本園・11月) 葉が3~5小葉になるカエデのなかまです。イロハモミジは赤い花をつけますがこの木は4~5月に黄色の花をつけます。 *Acer cissifolium* {カエデ科カエデ属 / 落葉高木}



ミツデカエデの葉表



ミツデカエデの葉裏



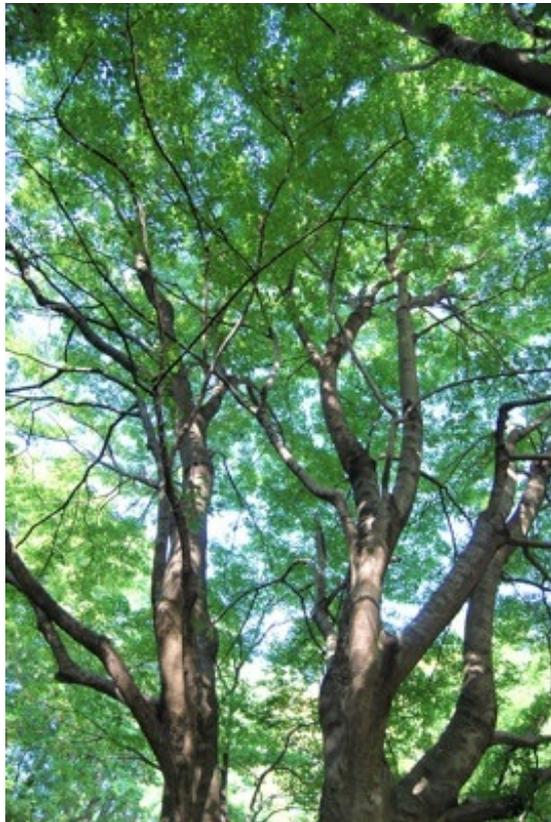
ミツデカエデの実



ミツデカエデの黄葉



ミツデカエデの幹



ミツデカエデ(カエデ見本園・9月)



ミツデカエデのシュート



ミツデカエデの葉表



ミツデカエデの葉裏



チドリノキの葉表【千鳥の木】(カエデ見本園・11月) カエデの仲間だけど手の平の形になりません。 別名:ヤマシバカエデ 雌雄異株 花期:4~5月 *Acer carpinifolium* {カエデ科(ムクロジ科)カエデ属 / 落葉小高木}



チドリノキの葉裏



チドリノキのシュート



チドリノキの冬芽(カエデ見本園・11月)



チドリノキ(カエデ見本園・9月)



チドリノキの葉表



チドリノキの葉裏



チドリノキの幹



ホソエカエデ【細枝楓】 (カエデ見本園・11月)
Acer capillipes Maxim. {カエデ科カエデ属 / 落葉高木}



ホソエカエデの紅葉



ホソエカエデの葉表



ホソエカエデの落ち葉



ホソエカエデの幹



ホソエカエデの冬芽

モミジバフウ



モミジバフウ【紅葉葉楓】(カエデ見本園・11月) 葉がカエデに似ているがカエデの仲間ではない木です。 *Liquidambar styraciflua* L. {マンサク科フウ属 / 落葉高木}



モミジバフウの落ち葉



モミジバフウの実(1月)



モミジバフウ(カエデ見本園・9月)



モミジバフウの幹



モミジバフウのシュート(南口駐車場・10月)



モミジバフウの葉表(10月)



モミジバフウの葉裏(10月)



トウカエデ【唐楓】(展望広場・11月)

Acer buergerianum {カエデ科カエデ属／落葉高木}



トウカエデ(カエデ見本園・9月)



花期のトウカエデ



トウカエデの花



トウカエデのつぼみ



トウカエデの葉表



トウカエデの葉裏



トウカエデの芽吹き(展望広場・4月)



冬のトウカエデ(疎林地帯・1月)



トウカエデの冬芽(1月)



トウカエデの幹



ウラゲエンコウカエデ【裏毛猴楓】(カエデ見本園・11月) 花期4月～5月、雌雄同株 *Acer connivens* {カエデ科カエデ属／落葉高木}



ウラゲエンコウカエデの黄葉



ウラゲエンコウカエデ(カエデ見本園・9月)



ウラゲエンコウカエデの幹



エンコウカエデ【猿猴楓】(泥沼周辺・11月)

Acer mono var. *marmoratum* {カエデ科カエデ属／落葉小高木}



エンコウカエデの紅葉(11月)



エンコウカエデ(カエデ見本園・9月)



エンコウカエデの幹

メグスリノキ



メグスリノキ【目薬木】(泥沼周辺・11月)

Acer maximowiczianum {カエデ科カエデ属／落葉高木}



メグスリノキ(カエデ見本園・11月)



メグスリノキの落ち葉



メグスリノキ(カエデ見本園・10月)



メグスリノキの葉表



メグスリノキの葉裏



メグスリノキの幹



ハナノキ【花の木】(カエデ見本園・11月)

Acer pycnanthum {カエデ科カエデ属／落葉高木}



ハナノキの落ち葉



ハナノキ【花の木】(カエデ見本園・9月)



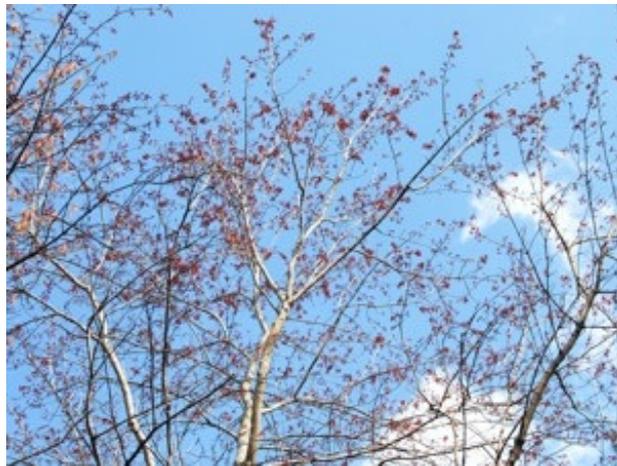
ハナノキの葉表



ハナノキの葉裏



ハナノキの幹



ハナノキの開花(カエデ見本園・4月)



ヒトツバカエデ【一葉楓】(カエデ見本園・11月)

Acer distylum {カエデ科カエデ属/落葉小高木(または高木)}



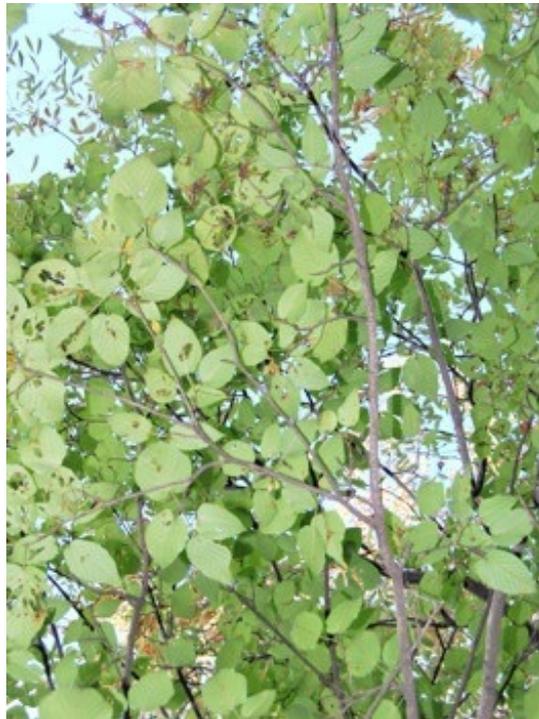
ヒトツバカエデ



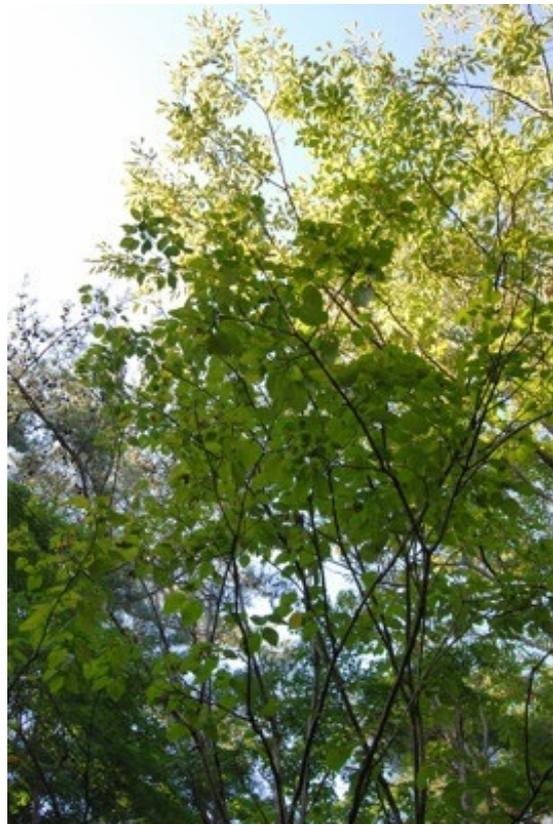
ヒトツバカエデの落ち葉



ヒトツバカエデの落ち葉



ヒトツバカエデ(カエデ見本園・10月)



ヒトツバカエデ(カエデ見本園・9月)



ヒトツバカエデのシュート



ヒトツバカエデの幹



カジカエデの紅葉【槭楓】(カエデ見本園・11月)

雌雄異株 *Acer diabolicum* {カエデ科カエデ属／落葉高木}



カジカエデの実



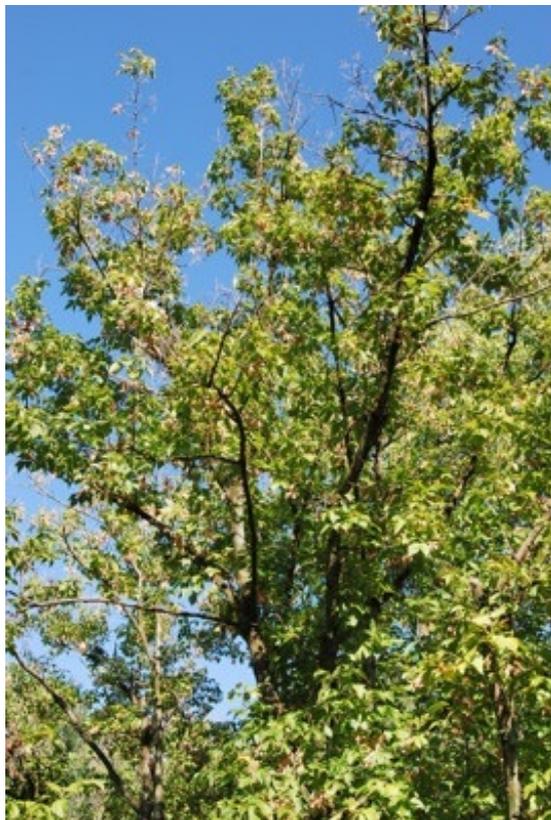
カジカエデ(カエデ見本園・9月)



カシカエデの実



カシカエデの幹

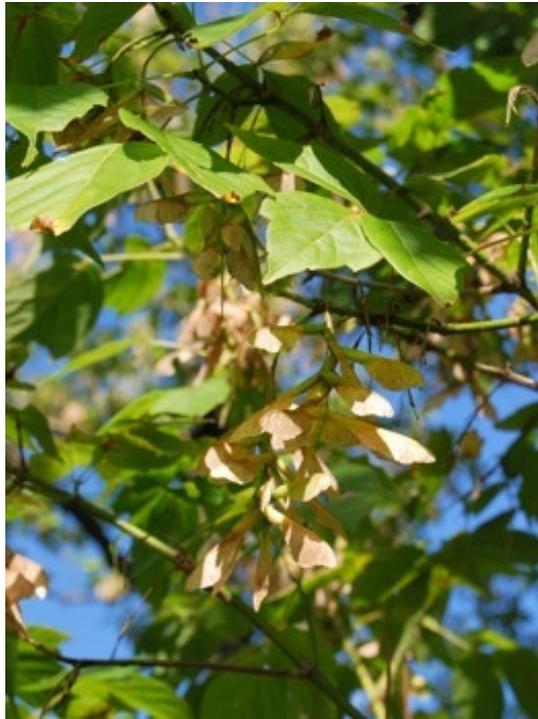


トネリコバカエデ【トネリコ葉の楓】(カエデ見本園・9月)

雌雄異花 *Acer negundo* {カエデ科カエデ属／落葉低木}



トネリコバカエデのシュート、実



トネリコバカエデの実



トネリコバカエデの葉表



トネリコバカエデの葉裏



トネリコバカエデの幹



冬のトネリコバカエデ



トネリコバカエデの冬芽



イタヤカエデ【板屋楓】(カエデ見本園・10月)

Acer mono {カエデ科カエデ属／落葉高木}



イタヤカエデの葉表(カエデ見本園・5月)



イタヤカエデの葉裏



イタヤカエデのシュート



イタヤカエデの幹



ハウチワカエデ【羽団扇楓】(カエデ見本園・5月)

Acer japonicum {カエデ科カエデ属／落葉高木}



ハウチワカエデの葉表



ハウチワカエデの花(カエデ見本園・4月)



ハウチワカエデの花



ハウチワカエデの実(5月)



ハウチワカエデの幹



ハウチワカエデの芽出し(カエデ見本園・4月)



ハウチワカエデの冬芽



カラコギカエデ【鹿子木楓】(カエデ見本園・11月)
雌雄同株 *Acer ginnala* {カエデ科カエデ属／落葉小高木}



カラコギカエデ(カエデ見本園・10月)



カラコギカエデの葉表



カラコギカエデの葉裏



ウリハダカエデ【瓜膚楓】(カエデ見本園・10月)

Acer rufinerve {カエデ科カエデ属 / 落葉高木}



ウリハダカエデのシュート



ウリハダカエデの紅葉(カエデ見本園・11月)



ウリハダカエデの葉裏



ウリハダカエデの幹 '初雪'



ウリハダカエデの冬芽



コハウチワカエデ【小羽団扇楓】(カエデ見本園・11月)
Acer sieboldianum Miq. {カエデ科カエデ属／落葉高木}



コハウチワカエデの黄葉



コハウチワカエデ(カエデ見本園・10月)



コハウチワカエデのシュート



コハウチワカエデの実



コハウチワカエデの葉表



コハウチワカエデの葉裏



コハウチワカエデの幹



イロハモミジ【伊呂波紅葉】(梅林付近・11月)

Acer palmatum {カエデ科カエデ属／落葉高木}



イロハモミジ(カエデ見本園・11月)



イロハモミジの紅葉



イロハモミジの幹



イロハモミジの芽出し(カエデ見本園・4月)



オオモミジ【大紅葉】(カエデ見本園・11月) イロハモミジの変種 *Acer palmatum* var. *amoenum* {カエデ科カエデ属／落葉高木}



オオモミジの黄葉



オオモミジの葉表



オオモミジの葉裏



オオモミジの実



オオモミジの幹



ヤマモミジ(カエデ見本園・10月)



ヤマモミジの幹



オニイタヤ(カエデ見本園・10月)



オニイタヤのシュート

森林公園に行こう 無料版・秋

<http://p.booklog.jp/book/91292>

著者：なぎ

著者のweb <http://homepage1.nifty.com/x6/>

私が書いた書籍

[逆引き電子回路図集](#) 秀和システム/ISBN:978-4-7980-2605-3/A5 2色272ページ/2,625円(税込)

[電子部品図鑑](#) 誠文堂新光社/ISBN：978-4-416-10701-0/B5変形/256ページ/3,150円(税込)

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/91292>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/91292>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ

[⇒COP10\(生物多様性\)](#)

| [総目次\(ホーム\)](#) | [さいたま緑の森博物館](#) | [飯能川原と天覧山](#) | [吉見百穴と川幅日本一](#) | [カタクリと見晴らしの丘公園](#) | [越生梅林・ふれあいの里山](#) | [森林公園・春](#) | [春\(無料版\)](#) | [森林公園・夏](#) | [森林公園・秋](#) | [秋\(無料版\)](#) | [森林公園・冬](#) | [森林公園・もみじ見ナイト](#) | [天神山・鐘撞堂山](#) | [高麗川・巾着田](#) | [高麗川ふるさと遊歩道](#) |

| [電子工作](#) | [開発用言語](#) | [開発ツール](#) | [風景写真](#) | [ミクロの世界](#) | [製品](#) | [料理](#) | [パンク修理](#) |

| [インフォメーション](#) | [個人情報の取り扱い](#) | [写真の問い合わせ](#) |